



# STOP!糖尿病

糖尿病ケア通信 2019年3号



## ブドウ糖負荷試験 75gOGTT 検査について

今回は糖尿病検査のひとつであるブドウ糖負荷試験についておさらいしてみましょう。診断に用いられる検査なので入院中に行うことは稀で、外来で行うことが多い検査です。

### <目的>

随時血糖値や空腹時血糖値だけでは判定が難しい場合に行われ、糖尿病の診断に有効な検査とされています。

### <糖負荷試験の禁忌>

高血糖になり危険です

1 型糖尿病、糖尿病ケトアシドーシス、空腹時高血糖値、感染症状のある方

|                   | 血糖測定時間            |     |             | 判定区分 |
|-------------------|-------------------|-----|-------------|------|
|                   | 空腹時               |     | 負荷後 2 時間    |      |
| グルコース濃度<br>(静脈血漿) | 126mg/dl 以上       | または | 200mg/dl 以上 | 糖尿病型 |
|                   | 糖尿病型にも正常型にも属さないもの |     |             | 境界型  |
|                   | 110mg/dl 未満       | または | 140mg/dl 未満 | 正常型  |

注 1) 血糖値はとくに記載のない場合には静動脈血漿値を示す。

注 2) 正常型であっても 1 時間値が 180mg/dl 以上の場合は 180mg/dl 未満のもの比べて糖尿病に悪化する危険が高いので、境界型に準じた取り扱い(経過観察など)が必要である。また、空腹時血糖値が 100~109mg/dl は正常域ではあるが、「正常高値」とする。この集団は糖尿病への移行や OGTT 時の耐糖能障害の程度からみて多様な集団であるため、OGTT を行うことが勧められる。

### <必要物品>

トレーラン G75g(1)、タイマー、血糖用試験管(5)、デスポ注射器 2.5ml(5)

採尿コップ 3 個以上、単包化消毒綿、駆血帯、手袋、マスク、エプロン、針捨て BOX

### <前処置>

- 1) 前日に検査の説明を行う
- 2) 炭水化物を 150g 以上含む食事を 3 日以上摂取
- 3) 前日夕食後から検査終了までは絶食(絶食時間は 10 時間以上)、水以外はとらない  
当日喫煙禁止

### <方法>

- 1) トレーラン G75g を 5 分以内に摂取
- 2) 飲用後 30 分、60 分、90 分、120 分に採血(採尿)※医師指示による
- 3) 検査中なるべく安静を保たせる(運動禁)。ただし検査終了まで臥床させないこと。
- 4) 検査終了後食事可能

文責: 森、野月